

近衛中学校 令和3年度前期学校評価アンケート

考察(全国学力調査生徒質問紙との比較から)

1. 学校教育目標【自主自律そして自治】への到達度

「社会や人とのつながりを大切にし 可能性を最大限に探究する たくましく生きる生徒」

Q. 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができますか(社会や人とのつながりを大切にする)

	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	前期計	
全国	12.6	31.2	43.8	
京都市	11.5	29	40.5	
生徒	26.2	37.8	64	

【考察】

7月に学校運営協議会との連携授業で京都大学防災研究所の矢守教授から双方向のオンラインで防災学習を行った。その際、矢守教授から「(防災の際)自分に何ができるか?」という問かけがあったことで、生徒の意識向上が見られたと考える。

Q. 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(可能性を最大限に探究する)

	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	計	
全国	19.4	44.1	63.5	
京都市	16.6	44.2	60.8	
生徒	17	37.7	54.7	

【考察】

今年度から全学年スケジュールノートを作成し、日々のタイムマネジメント能力の育成を図っている。生徒たちには家庭での学習を時間だけでなく、何の教科、教科のどこを勉強するなどを記入するように指導している。継続的な指導が必要である。

Q. 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している(たくましく生きる)

	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	計	
全国	20	45.9	65.9	
京都市	16.8	44.8	61.6	
生徒	20.1	47.8	67.9	

【考察】

例年、京都市が全国に比べ低い項目である。近衛中は学年目標に「失敗は成長の証」などを掲げるなどし、失敗を糧とし、たくましく生きる生徒の育成を目指している。

2. 自己有用感について

(保護者、教職員アンケート含む)

Q. 自分には良いところがあると思いますか(生徒)

Q. 学校で子どもの自己肯定感は育まれている(保護者)

Q. 生徒の自己肯定感を高めるように指導方や活動の場の提供など努力している(教職員)

	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	計	
全国	34.5	41.7	76.2	
京都市	31.6	42.5	74.1	
生徒	36.8	40.8	77.6	
保護者	31.3	60.2	91.5	
教職員	64.7	35.3	100	

【考察】

例年、京都市が全国に比べ低い項目である。近衛中は生徒指導の三機能の取組を進め、自己決定の場、自己存在感、共感的人間関係を授業や生活の場面で、それぞれの教職員が生徒の「自己指導力の育成」を図っている。

Q、わたしは将来の夢や目標を持っている(生徒)

Q、子どもは将来の夢や希望を持っている(保護者)

Q、生徒は将来の夢や希望を持っている(教職員)

	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	計
全国	40.5	28.1	68.6
京都市	37.3	27.2	64.5
生徒	40.6	31.3	71.9
保護者	29.3	46.3	75.6
教職員	12.5	75	87.5

【考察】

例年、京都市が全国に比べ低い項目である。近衛中、岡崎中、錦林小、第三錦林小、第四錦林小、北白川小は2年前、六校合同研修会において、「自己有用感」が低いという結果を踏まえ、以来、「自己有用感」を高める取組を各校で行っている。

3. ICTの使用について

(保護者、教職員アンケート含む)

Q、学習の中でコンピューターなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか(生徒)

Q、子どもはコンピューターなどのICT機器を学習に役立てている(保護者)

Q、生徒がコンピューターなどのICT機器を学習に役立つように授業で使用している(教職員)

	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	計
全国	60.4	32.8	93.2
京都市	57.7	34.6	92.3
生徒	59.1	32.2	91.3
保護者	17.3	54.3	71.6
教職員	31.3	43.8	75.1

【考察】

全国、京都市に比べ若干低い数値になっている。現在GIGAスクール構想のもと、タブレットの持帰りを始めているが、学校と家庭とで効果的な学習が出来るよう、教職員の体制も進めていきたい。

Q、携帯電話・スマホ・コンピューターの使い方について学校や家の人と約束したことを守っている(生徒)

Q、子どもは携帯電話・スマホ・コンピューターの使い方について約束したことを守っている(保護者)

Q、生徒は携帯電話・スマホ・コンピューターの使い方について学校で約束したことを守っている(教職員)

	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	計
全国	30.9	37	67.9
京都市	25.7	39.9	65.6
生徒	40.5	44.5	85
保護者	21.7	48.2	69.9
教職員	26.7	53.3	80

【考察】

生徒は携帯電話・スマホ・コンピューターの使い方について、85%が約束を守っていると答えておりが、保護者については守れているが69.9%と隔たりがある。生徒、家庭、学校と正しいICT機器の使い方をしっかり話す必要がある。